

修正型電気けいれん療法（mECT）における筋弛緩薬スキサメトニウム塩化物水和物の供給停止について（第2報）

令和5年1月21日

日本精神神経学会 学会員各位

公益社団法人 日本精神神経学会  
理事長 久住一郎  
ECT・rTMS等検討委員会 委員長 高橋英彦  
薬事委員会 委員長 三村 將

本学会は、令和4年9月17日に学会ホームページ上に本問題について会員向けに第1報をお知らせ致しました。本学会および他学会から厚生労働省（以下、当局）へも働きかけを行っております。当局も本件を重く受け止めており、まずは令和4年11月28日に「スキサメトニウム注射剤が安定供給されるまでの必要な患者への優先的な使用等の対応への協力」を各自治体衛生主管部（局）に通知がなされました。

現在、丸石製薬株式会社と当局により筋弛緩薬スキサメトニウム塩化物水和物（スキサメトニウム®）ができるだけ早期に再出荷ができるよう調整を続けております。しかしながら、スキサメトニウム注射剤が一時期入手困難となる可能性があることや、各医療施設より入手できない場合の代替方法について教示してもらいたい、といった声もいただいております。

そこで、本学会では、引き続き精神科関連学会、麻酔科関連学会、規制当局等、諸団体に働きかけを行っていくほか、修正型電気けいれん療法（mECT）の際のスキサメトニウムの代替の筋弛緩方法について、現在検討をしております。スキサメトニウム消尽前の可能な限り早い時期に使用ガイドを提案したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。